



会報

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2010年1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

2010 年頭のごあいさつ



財団法人日本太鼓連盟
会長 松本 英昭

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、日本国にとって政権交代という大きな変革のあった年でした。

また一昨年のアメリカに端を発した不況の波が日本経済を直撃し、景気の悪化が一層進んだ年でもありました。

そのような社会状況の中、連盟としては当該支部の協力を得て所定の事業を実施いたしました。

3月には、静岡県浜松市において第11回ジュニアコンクールを開催、優勝には宮崎県の「太鼓研修センター『響』」が輝き、3年連続して九州勢が優勝を果たしました。なお、今までの開催実績が高い評価を受け、今大会から内閣総理大臣賞が下付されることになり一層価値ある大会となりました。

6月には、東京都港区において「財団法人がんの子供を守る会」の共催を得て第13回チャリティコンサートを開催、来場者から頂戴した募金を全額同会にお渡ししました。また9月には、大分県別府市で全国フェスティバルを開催し、全国から参加した優秀チームの高い演奏技術に会場につめかけた観客から大きな拍手が寄せられました。10月の石川県小松市での全国障害者大会には全国から24チームが参加、日ごろの練習の成果を発揮していただきました。6回目となるシニアコンクールも11月に石川県津幡町で開催、長年培ってきたシニアならではの味のある演奏を披露いたしました。

さらに財団の事業の柱とも言うべき演奏技術の向上と後継者の育成を図るための講習会も全国講習会を3回、支部講習会を4回開催いたしました。参加した受講者は、2日間に亘り熱心に受講していましたが、全国的に蔓延したインフルエンザの影響により、やや参加者が少なかったのが残念でした。また昨年は、公認指導員にとって3年に1度の更新の年であり、各会場で懐かしい顔を見ることができ、旧交を温めておりました。

ここ数年、重点事業として取り組んでいる教職員の講習会は、全国で9回開催されました。学校の先生がこうして太鼓の講習会に参加されることは、今後の少子化社会を迎え、子供数の減少が予測される中で子供達の太鼓活動への新規参入を促す大きなきっかけになるものと期待しております。

国際交流事業として、ジュニアコンクールにブラジルから「ジャーレス轟太鼓」を招聘した他、12月に台湾へ宮崎県の「橘太鼓『響座』」を派遣、台湾各地で公演を行いました。台湾での日本太鼓の普及は、急速に進んでおり加えて日本での講習会に参加するなど技術の向上も目覚ましいものがあります。

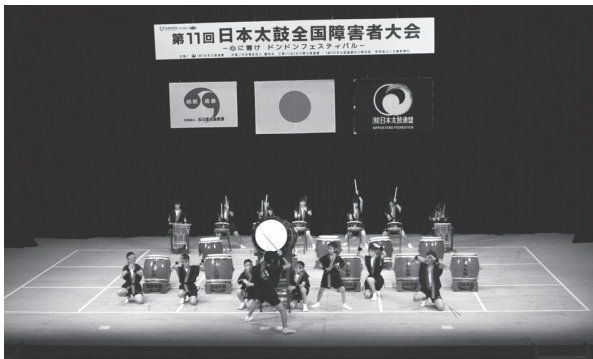
このように日本太鼓が内外において益々普及する中、新しく迎えた2010年においても全国フェスティバルを始めとする演奏会事業や全国講習会等の技術普及事業については、当該支部のご協力を得ながら内容を充実し進めていきたいと思っております。

昨今、太鼓界を取り巻く社会環境は、景気の悪化に伴うイベントの減少による出演機会の減少、地方自治体からの助成金の減少、少子化による後継者不足等大変厳しいものがあります。日本太鼓連盟としてこの厳しい社会情勢の中で日本太鼓の普及・振興を図るため支部・会員の皆様との協調・連携をとりながら事業運営にあたりたいと考えております。

最後に2010年が日本太鼓界と会員の皆様にとってよい年になるようご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

第11回日本太鼓全国障害者大会開催

～石川県小松市で開催～



(石川県立ろう学校風神太鼓)

10月18日(日)、第11回日本太鼓全国障害者大会が、石川県小松市の「石川県こまつ芸術劇場うらら」にて開催されました。

この大会は日本財団の助成事業として行われ、(財)日本太鼓連盟主催、社会福祉法人富岳会共催、(社)石川県太鼓連盟、(財)日本太鼓連盟石川県支部主管のもと、厚生労働省、文化庁、石川県、地元小松市等の後援を賜り実施いたしました。また、開会式では岡田直樹参議院議員より励ましのお言葉をいただきました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があると言われており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)は、30年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてられました。1998年に富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」として静岡県御殿場市で開催され、その後「より多くの団体にも出演の機会を」との声を受け、1999年より当財団との共催で、全国大会として実施しております。

第11回目を迎える今回は、日本太鼓に積極的に取り組んでいる24チーム(出演者375名)が13都府県より一堂に会し、日ごろの練習の成果を力いっぱい披露しました。

今回は、「和太鼓集団 韻(ひびき)」(大阪)、「洞月太鼓」(石川)の2チームに初めて参加いただきました。また、「富岳太鼓竜神組」(静岡)、「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡)、「恵那のまつり太鼓」(岐阜)の3チームは初開催以来、11回連続で出場をしています。

各団体の演奏の合間には、障害者の皆さんが太鼓との関わりについて発表し、自身の成長や、チームの変化などを生き生きとした表情で語ってくれました。いずれのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮し、演奏レベルも非常に高く、またそれぞれの持ち味を生かした演奏を披露していました。全員が、何より心から太鼓を楽しんでいる様子が印象的でした。ほぼ満席の800名におよぶ観客は、ひたむきな演奏と体験発表に惜しみない拍手を送っていました。

また、会場ロビーには、富岳会の皆さんが描いた素晴らしい絵画が展示され、来場者は熱心に見入っていました。

＜出演団体一覧＞

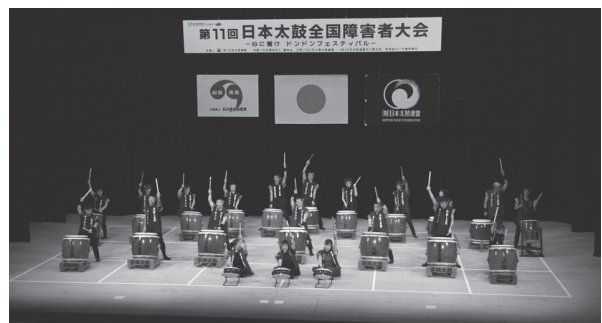
(出演順24団体)

- 1 静岡 富岳太鼓 竜神組
- 2 山梨 甲州ろうあ太鼓
- 3 静岡 静岡県立静岡北特別支援学校北龍太鼓
- 4 京都 京都府立与謝の海養護学校寄宿舎
- 5 静岡 伊豆医療福祉センター どんつく
- 6 山口 あそかの園 同朋太鼓
- 7 長野 和太鼓ちんどん
- 8 大阪 視聴覚二重障害者福祉センターすまいる
- 9 静岡 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム
- 10 愛媛 四国中央磐座太鼓ろうあ部会 鼓龍会
- 11 静岡 静岡ハンディキャップ太鼓の会
- 12 長野 諏訪聾太鼓
- 13 石川 石川県立ろう学校 風神太鼓
- 14 富山 鼓友 夢光組
- 15 大阪 豊里学園 和太鼓 鼓粹
- 16 新潟 新潟ろうあ万代太鼓 豊龍会
- 17 長野 諏訪養どんどん太鼓
- ☆18 大阪 和太鼓集団 韻(ひびき)
- 19 東京 東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」
- 20 福島 やまびこ太鼓
- ☆21 石川 洞月太鼓
- 22 岐阜 ファミリーユニット童鼓
- 23 石川 社会福祉法人 南陽園 ふれあい和太鼓
- 24 岐阜 恵那のまつり太鼓

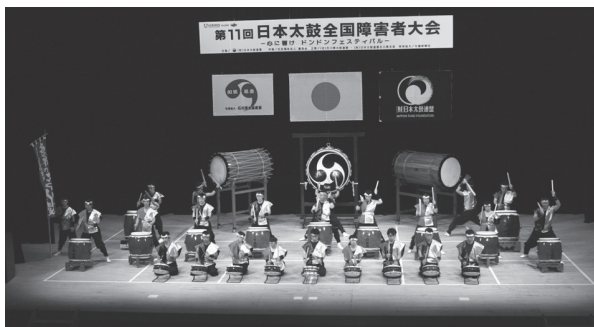
☆は初出場チーム



(11回連続出場の富岳太鼓竜神組)



(11回連続出場の金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム)



(11回連続出場の恵那のまつり太鼓)



(絵画の前で写真を撮る鼓友夢光組)

体験発表紹介

第11回日本太鼓全国障害者大会の発表文をご紹介します。今回が初の出場となる「和太鼓集団 韻(ひびき)」(大阪)、「洞月太鼓」(石川)の2チームの体験発表を掲載いたしました。(原文のまま掲載)

「和太鼓集団 韻(ひびき)」(大阪) 和田真由美

私は韻(ひびき)に入るまでは、鼓粋(こいき)というチームにはいっていません。

こいきでは、ニューヨークで演奏した事もありました。

ひびきにはいって、いろんなところで出演して、お客さんを感動させてあげたいと思います。

これからは、ひびきでたいこをがんばりたいとおもいます。

いろんな曲を覚えて韻でがんばりたいとおもいます。

たいへんなこともあるけれども、さいごまでやりたいです。

日高 聖二

もっともっと韻(ひびき)の人気をあげるためにこれからもきびしい韻の練習についていて、いつかは日本たいこ連盟の講習会をうけられるように自分はめっちゃがんばるんで、これからもよろしくおねがいします。

目指すはぎじゅついん1級。

合格できるように、めっちゃ努力して、真剣にがんばるんで厳しい太鼓の指導をこれからもよろしくおねがいします。

自分は、たいこに魂を込めてやっていきたいんで、つらいことから逃げずに自分の力を出し切って身体全体でぶつかっていきます。



(初出場の和太鼓集団 韻)

「洞月太鼓」(石川) 佐藤 知美

私は石川県小松市にあります、うめの木学園の佐藤知美と言います。

太鼓を始めて9年になります。毎週火曜日に1時間ほど練習をやっています。太鼓を教えている先生は高木幸子さんと言います。高木先生は練習の時はすごく厳しいけど、太鼓を上手に出来たときに誉めてくれたり、練習が終われば冗談も言うやさしくて面白い先生です。

これまで、学園祭や地域のイベント、老人ホームへ太鼓の発表をしてきました。一番思い出に残っているのは、チャリティーコンサートで歌手の寒雲さんと一緒に発表できた事です。たくさんのお客さんの前で最初は胸がドキドキして緊張したけど、うまく太鼓を打てたので終わった後はとっても嬉しい気持ちになりました。

これからもずっと太鼓の練習を続けてもっと上手になって、いろんな所に行って太鼓の発表をして、いろんな人と交流をしていきたいです。



(初出場の洞月太鼓)

次回障害者大会は千葉県で開催予定

第12回大会は2010年10月17日(日)千葉県成田市の「成田市体育館」にて開催を予定しております。詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

第6回日本太鼓シニアコンクール全国大会開催

～文部科学大臣賞を目指して、全国より29組92名が参加～

11月22日(日)、石川県津幡町「津幡町文化会館シグナス」において「第6回日本太鼓シニアコンクール」が開催されました。この大会は、60歳以上のシニア層を対象として近年の激しく速い太鼓と違って味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指して実施しているもので、第3回目より文部科学大臣賞を下付されております。

6回目を迎えた今年は、8都県より29組92名が参加し、栄えある名人位・文部科学大臣賞を手にしたのは寺野明氏(住吉神社御神事太鼓保存会・石川県)でした。楽しい演奏が観客の気持ちも楽しくさせる好演でした。またお客様は、長年培われた深みのある演奏に魅了されていました。なお、同日ジュニアコンクールの石川県予選大会も開催され、参加した子供たちも大会を見学しました。

〈結果〉

(敬称略)

☆見事、名人位に輝いた寺野明氏に喜びの言葉をいただきました。

名人位

寺野 明(住吉神社御神事太鼓保存会・石川)

準名人

岩城 正治(加賀太鼓保存会・石川)

源通 博(水舞流越中八幡太鼓保存会・富山)

高野右吉と秩父社中(グループ・埼玉)

特別賞

石井響宇山(善通寺龍神太鼓・香川)

今井 博(七尾豊年太鼓保存会・石川)

長坂 豊子(信州上田真田陣太鼓保存会・長野)

馬場 弘一(助六太鼓保存会・東京)

大場潟乃太鼓シニア本末組(グループ・石川)

山田山々太鼓(グループ・滋賀)

今井 冽(山鹿太鼓保存会・熊本)

住吉神社御神事太鼓保存会 寺野 明

日本太鼓シニアコンクール全国大会に初めて出場したのは第4回大会の時でした。私は「祭りを楽しむ」、「娘の吹く笛の音で孫を相手に楽しく祭り太鼓で遊ぶ」をテーマに演奏し、その時は特別賞(石川県太鼓連盟理事長賞)をいただきました。

今回は曲目「陰陽(おんみょう)」で出場しました。御神事太鼓で神に祈りを捧げ、神を呼び起し、万民守護五穀豊穡を願い、祭り太鼓で豊作と災難消除の喜びを表し、楽しく祝うというテーマです。仲間の助けもあり、名人位の栄を賜わり、また栄えある文部科学大臣賞を受賞するなど身にあまる光栄と感激に気のひきしめる思いです。

私は石川県輪島市指定無形民俗文化財「住吉神社御神事太鼓保存会」会長と輪島の「伝統芸能祭り太鼓」の顧問も務めさせてもらっています。和太鼓の素晴らしさ、魅力は奥深いものです。未だにそれをつかむことのできない私ですが、郷土芸能の保存と伝承をしていく事で地域の発展、あわせて自分自身の技術修得につながるものと思っています。また後輩の指導と健全な青少年の育成を目指し、子供祭り太鼓教室も開き、「礼儀作法」、「感謝の心」、「仲間の大事さ」など、太鼓だけでなく心の豊かな子供たちになることを願っています。微かながら少しでも郷土の伝統芸能の保存発展、後継者の育成に役立つ活動に心がけ、栄えある賞に恥じないよう今後とも精進し努力邁進いたします。

今大会で各地の太鼓愛好者の方々とお話しする機会を得、有意義な時間を過ごすことができ、楽しい思い出になりました。遠方からの参加者は本当にご苦労さまでした。またお会いできる日を楽しみにしています。なお、大会関係者の皆さまにお世話をいただき感謝申し上げます。最後にシニアコンクール全国大会に今以上の参加者を得、壮大な催しに定着することを願うとともに、益々の発展と関係者各位様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、受賞の御礼の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

審査委員

(五十音順・敬称略)

浅野 義幸(株浅野太鼓楽器店 17代当主)

江頭 啓輔(三菱ふそうトラック・バス(株)相談役)

塩見 和子(審査委員長・財団理事長)

長谷川 義(全九州太鼓連合会長)

福光松太郎(株式会社福光屋代表取締役社長)



(開会式の様子)



(名人位 寺野明氏：向かって右側)

富山で全国講習会を開催



(開会式で挨拶をする河合支部長)

<第36回日本太鼓全国講習会(富山)>

11月7・8日(土日)、富山県支部主管の全国講習会を、氷見市ふれあいスポーツセンター(富山県氷見市)にて実施いたしました。地元富山県をはじめ、全国19都府県から94名が受講しました。

開会式では、財団を代表して中西常務理事、富山県支部を代表して河合支部長、地元氷見市より堂故市長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、講習会がスタートしました。

立派な会場での講習を終え、2日目の閉会式では、各講座で受講した成果を余すことなく、一生懸命に披露していました。

また、同時に行った第4期公認指導員更新研修会では、全国から52名の公認指導員が参加し、更新手続きを完了しました。参加した公認指導員の皆さんからは、懐かしい顔が見ることができ良かったとの感想が寄せられました。

○専門講座 講師

三ツ打太鼓講座	河合 睦夫氏
秩父屋台囃子講座	高野 右吉氏
締太鼓講座	渡辺 洋一氏

○基本講座 講師

総合指導	古屋 邦夫氏
3級基本講座	安江 信寿氏
4級基本講座	若山 雷門氏
5級基本講座	松枝 明美氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	10名受験	4名認定(10名合格)
2級検定	17名受験	6名認定(15名合格)
3級検定	18名受験	18名合格
4級検定	9名受験	9名合格
5級検定	34名受験	34名合格

*2009年12月末現在の認定者数

	公認指導員	技術認定員
特別	1	—
1級	41	80
2級	47	165
3級	113	686
4級	—	1,318
5級	—	4,541
計	202	6,790
合計	6,992	

台湾日本太鼓公演

～第2回台湾太鼓フェスティバルを開催～

12月1日(火)から8日(火)にかけて台湾に、「橋太鼓『響座』」(宮崎)を派遣しました。これは、台湾太鼓協会主催の「第2回台湾太鼓フェスティバル」を開催するにあたり、日本を代表するチームと台湾の太鼓チームによる公演を行いたいとの依頼があり、実現したものです。今回は、宜蘭、台中、台北で3回の公演と博如幼稚園と台中日本人学校でミニ公演とワークショップを行いました。

台湾チームの演奏は2年前の設立時とは、比べられないほど技術が上がっており、昨年度に実施した「第1回台湾太鼓フェスティバル」をきっかけに当財団の長谷川副会長がボランティアとして何度も台湾を訪問して指導された成果が早くも表れていると実感いたしました。特に100名にもおよぶ台湾合同チームによる演奏は目をみはるもので、それまでの練習の成果を見事に花開かせていました。

今回の公演の中で一番の盛り上がりを見せたのは、台中市の「中山堂」で行われた公演でした。1,700名収容の会場で入場券は早くから完売となり、多く

の人が入場できないほどの盛況で、当日は立ち見や階段で見学する人で溢れるほどでした。

全ての公演での観客動員総数は4,000人となり、いずれの公演でも盛大な拍手が鳴り止まず、公演の成功を物語っていました。

滞在中に台湾太鼓協会の王理事長より来年は講習会とフェスティバルに加え、新たにジュニアコンクールも開催したいとのお話があり、これらに対して協力の要請がありました。



(熱演する橋太鼓「響座」・宮崎県)

台湾公演について 台湾太鼓協会理事長 王妙涓



(合同曲「台湾総曲」で歌う指導者の先生方)

この度、12月3日(木)宜蘭県羅東演芸庁、5日(土)台中市中山堂、6日(日)中壢藝術館にて『太鼓撃響、天下太平』をテーマに日本から来て下さった橘太鼓「響座」と台湾各地から参加した19の太鼓チームとの共演で台湾太鼓協会第2回全国日本太鼓総合公演を行いました。

初日は平日にも関わらず、700名の観客が訪れ、会場をいっぱいにしました。宜蘭は台湾の東側にあり、あまり開発の手が入っていないことから景色の美しい所です。台北との間に雪山山脈(主峰の高さは3492m)があるため、昔から台北へ出る交通は日本で言う日光の「いろは坂」の如く、とても険しく不便でした。2006年6月に雪山隧道(世界で第5番目、アジアでは2番目に長いトンネル・全長12.9km)が開通し、台北から1時間余りで行けるようになりました。

今回、太鼓協会に宜蘭の新会員が入ったので太鼓普及のため公演を決定しました。多くの方が初めて日本太鼓公演を観て、みな太鼓演奏に大変感動した様子でした。選挙中で忙しい中、現職県知事である呂国華氏も会場へ駆けつけて下さいました。塩見理事長と壇上で記念品の交換を行ったとき、感謝の言葉と共に「これから宜蘭地区にも小さいお子さんからご年配の方までを対象に太鼓普及に力を貸したい。」と約束して下さいました。お客様の中には、「こんな田舎まで来てくれて嬉しい。」と感激して下さいました方もいて、公演が終わってからも名残惜しそうに会場に残っていました。また、塩見理事長から太鼓についての話を聞き、一人一人身体の中に太鼓があると初めて知って、太鼓の音が自分の心の奥まで響いてきて心が震えました、と喜びの言葉を頂いたりもしました。会員の小学生の保護者の中には、公演後に「ぜひ今度の講習会に参加したい。」と言う声が多く聞かれました。

台中市中山堂は賑やかな台中市の中心にあり、今回の公演では一番大きなメイン会場です。公演当日、会場に1,650名が入場いたしました。この会場で初めて100人で、長谷川義先生作曲の台湾総曲「フォルモサの風」を演奏しました。(フォルモサとはポルトガル語「美しい島」台湾の意味です。)

曲の始めに大太鼓に合わせて篠笛で台湾民謡「望春風」のメロディーを演奏してから太鼓のチームリーダー10人がチャイナドレス姿で台湾語の歌「望春風」を歌いました。観客の皆さんも一緒に歌って下さいました。懐かしい郷土の感情が会場を満ち、大きな反響がありました。涙が止まらない方もいました。歌が終わると力強い太鼓が鳴り響き、5才から50才の会員100人が皆で心をあわせて力の限り一生懸命に演奏を披露しました。その心が伝わったのか、会場の歓声がいつまでも続きました。誰よりも嬉しかったのは指導して下さいました長谷川先生であり、導いて下さった塩見先生だと思います。先生！本当にありがとうございました。

「望春風」は、1933年にできた有名な歌謡曲です。当時の台湾は日本統治時代で生活がとても安定していました。また、自由恋愛が盛んな時期でもあり、この歌はすぐ人々に愛されました。17、18才の少女が美少年に出会い、彼はどこの人だろう、私の婿になって欲しいと願いますが、口には出せません。月夜に1人で、窓際で彼がいつ訪ねてくれるだろうと思っていると、ドアがノックされ、開けたら、「お前は春風にだまされよ。」と、お月様に笑われました、といった内容です。現在も台湾を代表する歌です。(ちなみに台湾の共通語は北京語です。)

公演の当日に台中県副知事の張壯熙様&夫人、衆議院の呂秀燕議員代理頼主任、台中市議会の唐国泰議員、陳成添議員が、塩見理事長と記念品を贈呈しあい、予定を変更してでも最後までご覧になって下さいました。皆、心から太鼓の楽しさ、すばらしさを味わったと感動されていました。

台中地区の太鼓チームが一番熱心で団体数も多いですが、ここ3、4年で低迷していたチームも少なくありませんでした。しかし、今回の公演に感動したチームリーダーからぜひ入会したい、来年の公演にも参加したいと積極的な声が多く聞かれました。ほとんどが家族を総動員して参加したこの公演でした。リーダーの中には公演を見たご主人に認められ、全面的に協力してくれることになった人もいました。これからは太鼓に投資し易くなり、日本太鼓への情熱も戻り、今までの苦勞が報われたようで嬉しい気持ちで一杯です。



(宜蘭での泰山太鼓團-漾組の演奏)

最後の公演は中壱藝術館でこもほぼ満員でした。この公演に参加されたチームの中には結成2ヶ月ほどのチームがありました。このチームのリーダーは昨年9月に別府で行われた「日本太鼓全国フェスティバル」と「全九州ジュニア太鼓フェスティバル」の見学ツアーに参加し、大きな感動を覚え、台湾へ戻ってから積極的にチームをつくり、会員の仲間の応援を頂きながら、毎日練習しました。都会での練習は騒音の問題もあり何回も場所を変えました。始めは、保護者の方から「なぜ遅くまで練習するのか」と沢山のクレームがありましたが、公演をご覧になり、保護者達の態度は一変、「園長先生ありがとうございます。先生は正しかったです。これからは応援します。」との嬉しい知らせがありました。この公演でも台湾総曲「フォルモサの風」を100人近い人数で演奏しました。台中と同じく大きな反響がありました。

今回の公演で台湾のチームはそれぞれが力いっぱい演奏し、また橘太鼓「響座」の笛と楽しい担ぎ太鼓の入場には一味違う楽しさがあって大人気でした。迫力満点の演奏も観客の心を動かしました。太鼓の楽しさが十分に伝わり、見た人は幸せな気持ちになりました。この思い出はいつまでも心に残ると思います。

台湾太鼓協会は日本太鼓連盟の応援の下、2007年に設立し、多大なご支援を頂き、色々勉強をさせ

ていただいております。ゆふいん源流太鼓との出会いが何よりの幸運です。塩見理事長の応援をはじめ、大澤局長の舞台演出指導、長谷川先生の太鼓指導、(財)日本太鼓連盟の関係者の皆様のご協力と台湾太鼓協会の会員の頑張りに感謝！感謝！これらのうち、一つが欠けても今日はないと思います。塩見理事長より「台湾太鼓協会理事長である私の頑張りもあると言わないといけない。」と、お優しい言葉を頂きました。2年間の努力で少し成果が出たこの公演です。

再来年、日本のジュニアコンクールにゲストとして出場出来そうと塩見理事長から力強い応援を頂きました。そして、来年は台湾のジュニアコンクールに向けて、新たな取り組みに挑戦していきたいと思っています。未熟な私達ですが何卒よろしくご指導の程お願い致します。



(台北での台湾合同チームによる演奏)

事務局だより

講習会のお知らせ

第47回日本太鼓支部講習会(静岡県御殿場市)

期 日： 2010年1月16・17日(土日) 主 催： (財)日本太鼓連盟静岡県支部
 主会場： 社会福祉法人富岳会 富岳太鼓パレス(静岡県御殿場神山1925-1148)
 講 座： 基本講座 総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)
 4級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)
 5級基本講座(初心者講座) 松枝 明美氏(1級公認指導員)
 申込先：富岳太鼓事務局 担当：五十嵐・田中
 〒412-0032 静岡県御殿場市二子525-4 Tel.0550-87-3720 Fax.0550-87-3940

第37回日本太鼓全国講習会(鹿児島県霧島市)

期 日： 2010年2月27・28日(土日) 主 管： 全九州太鼓連合、(財)日本太鼓連盟鹿児島県支部
 会 場： 霧島国際音楽ホール みやまコンセル(鹿児島県霧島市牧園町高千穂3311-29)
 講 座： 専門講座 助六太鼓講座(単式複打法) 今 泉 豊氏(東京都)
 八丈太鼓講座(単式複打法) 菊 池 修氏(東京都)
 源流太鼓講座(複式複打法) 長 谷 川 義氏(大分県)
 基本講座 総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)
 3級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)
 4級基本講座 若 山 雷 門氏(1級公認指導員)
 5級基本講座(初心者講座) 渡 辺 洋 一氏(1級公認指導員)
 松 元 和 敏氏(1級公認指導員)
 申込先：(財)日本太鼓連盟鹿児島県支部 〒898-0045 鹿児島県枕崎市立神北町456-201
 事務局長 平田 寿一 携帯 090-2581-7354 Tel&Fax.0993-72-8849

ジュニアコンクール出場団体決定！ (35都道府県47チーム)

名 称：第12回日本太鼓ジュニアコンクール(内閣総理大臣賞・総務大臣賞・文部科学大臣賞下付予定)
期 日：2010年3月21日(日) 開場10:30 開演11:00 閉会式終了予定19:00(前日リハーサル)
会 場：大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5) Tel.048-647-4111

入 場 料：前売券 2,000円 当日券 2,500円

第12回大会は、各都道府県の支部予選で優勝したチーム等が一堂に会し、これまで以上の熱演が予想されます。出場者には、お互いを思いやり、礼節を重んじ、ジュニアらしく真摯で元気ある演奏を期待しております。

出場団体：(35都道府県47チーム)(順不同)

蝦夷ジュニア(道東)、橋本流地獄太鼓和太鼓會(道央)、夕張太鼓保存会「竜花」(道西)、室蘭和太鼓會(道南)、岩手県立宮古水産高等学校宮水太鼓潮組(岩手)、利府太鼓(宮城)、山木屋太鼓「山猿」(福島)、やんさ太鼓保存会(茨城)、岩舟武蔵太鼓ジュニア(栃木)、群馬県立藤岡中央高等学校和太鼓部「ひびき」(群馬)、川越ふじ太鼓(埼玉)、乾武神流川太鼓(埼玉)、高野右吉と秩父社中(埼玉)、和太鼓風(千葉)、大江戸助六流白鷗組高等部(東京)、相州海老名東柏太鼓(神奈川)、子不知太鼓(新潟)、氷見有磯太鼓漣(富山)、輪島・和太鼓虎之介(石川)、九谷太鼓若獅子組(石川)、手取亢龍若鮎組(石川)、ハッ杉太鼓遊心(福井)、山梨県立山梨園芸高等学校すいれき太鼓部(山梨)、御諏訪太鼓保存会神童太鼓(長野)、上石津もんでこ太鼓保存会少年部(岐阜)、赤石太鼓保存会(静岡)、飛龍高等学校和太鼓部(静岡)、一宮太鼓保存会萩原支部(愛知)、伊勢乃國鏡太鼓童(三重)、鼓甥〜 Jr〜(滋賀)、大和の響き・京(京都)、金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」(大阪)、神戸太鼓ちびっ子連(兵庫)、ふれあい活動推進協議会宇品みなと太鼓(広島)、吉敷鳳翔太鼓保存会(山口)、掛合太鼓ジュニア(島根)、博多おっしょい太鼓(福岡)、和太鼓「葉隠」(佐賀)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、熊本市立必由館高等学校和太鼓部(熊本)、人吉ねぶか太鼓(熊本)、源流はさま太鼓(大分)、橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)、日向の国「響」(宮崎)、宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校太鼓部鼓魂(宮崎)、山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)、火の神乙女太鼓「爽」(鹿児島)

特別出演：太鼓研修センター「響」(宮崎・第11回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)

パラナバイ寿太鼓(2009年度第6回全ブラジル太鼓選手権大会優勝チーム)

*大会規定により、支部予選で21チームを超える参加があった場合は2チーム、31チームを超える場合は3チームが出場できることとなっております。これにより、静岡・熊本・鹿児島各支部から2チーム、石川・宮崎各支部から3チームが参加します。また、大会開催地の埼玉県支部からは3チームが参加します。

なお、今回不参加の支部は北海道道北・青森・秋田・山形・奈良・岡山・鳥取・香川・徳島の9支部です。

*推薦等で申込のあった団体は、運営・技術合同委員会において審議の上、正式決定されます。

2010年度の予定

全国講習会

2010年6月26・27日(土日)	石川県川北町
2010年11月6・7日(土日)	福島県福島市
2011年2月予定	大分県由布市

支部講習会：詳細が決定次第、随時お知らせいたします。

日本太鼓チャリティコンサート

2010年6月4日(金)草月ホール(東京都港区)

第14回日本太鼓全国フェスティバル

2010年7月18日(日)イズミティ21(宮城県仙台市)

第12回日本太鼓全国障害者大会

2010年10月17日(日)成田市体育館(千葉県成田市)

第7回日本太鼓シニアコンクール

2010年11月21日(日)こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)

第13回日本太鼓ジュニアコンクール

2011年3月20日(日)センチュリーホール(愛知県名古屋市)